



校訓「至誠」

母校 元小

学校だより
令和8年2月
川口市立元郷小学校
児童数：433名



元郷小HP

宇宙の法則①

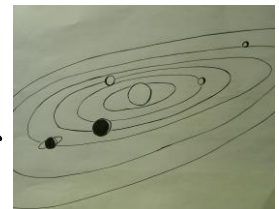
校長 根本 広徳

1月25日（日）に、上尾市文化センターで第36回埼玉県小学校管楽器演奏発表会がありました。金管バンドクラブのみなさんが出場し、すばらしい演奏をしました。1学期から、毎日のように練習を重ね、校内音楽会、南平文化会館のステージを経て、本演奏会に臨みました。直前まで練習し、少しでも上手に演奏しようという気持ちがあり、本番のリズミカルで迫力があり、クリアでまとまりのある演奏につながったのだと思います。



この1年間の金管バンドクラブのみなさんの様子を見て確信したことがあります。それは、自分が出したものは自分に返ってくる「宇宙の法則」があるということです。クラブのみなさんは、毎日のように練習を重ねてきました。個人練習、パート練習、全体練習と何度練習したか数えきれないと思います。それぞれが自分の力を練習で出し、その出した力が、美しい音色となって返ってきた。しかも一人一人の出す成果が幾人も重なると、何十倍、何百倍にもなって演奏に返ってくる。ステージ上で味わった演奏は、まさに「至福の時間」ではなかったかと思えます。自分が出したものが返ってくる、この「宇宙の法則」を体現したような演奏会でした。

実は、この「宇宙の法則」は、みなさんのまわりの至る所で、常に起こっています。自分が出したものは自分に返ってくる。例えば、休み時間に練習した鉄棒の逆上がりができるようになる。何回も繰り返し練習した漢字が覚えられる。失敗しても挑戦し続けたら、人前で発表できるようになった。友達が困っているときに助けたら、自分が困っているときに助けられた。近所の人に、勇気をもってあいさつをしたら、にこやかにあいさつが返ってきたなどなど、いろいろなよいことが自分に返ってきます。



一方、鉄棒も漢字も練習する力を少ししか出していないと、少ししかできないという結果が返ってきます。友達を助けるのではなく、困らせること、例えば、悪口や愚痴（ぐち）を言えば、めぐりめぐって、自分が悪口か愚痴を言われることになります。しかも、何十倍、何百倍にもなって。

一度出してしまったものは、その出したものに依って返ってきます。マイナスのものを出してしまったらマイナスのものが返ってきます。それはもう仕方がないので、受け入れるしかないでしょう。しかし、それ以上のプラスのことを出したら、そのマイナスをカバーできるかもしれません。

大事なことは、ときどき自分を振り返ってみることです。学校では、帰りの会などで1日の振り返りをしています。自分の行動は、言葉は、気持ちはどうだったか、各ご家庭でも、ときどき自分の出しているものは大丈夫か、話し合う機会を作ってみてはいかがでしょうか。